

## 平成30年第9回狭山市定例教育委員会会議会議録

開催日時 平成30年9月27日(木)  
午後3時14分から午後4時37分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄  
教育長職務代理者 吉 川 明 彦  
委 員 橋 本 秀 樹  
委 員 宮 崎 英 子  
委 員 後 藤 邦 江

欠 席 者 なし

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	滝 嶋 正 司	次長兼教育総務課長	杉 田 幸 伸
学校統廃合担当課長	吉 村 憲	社会教育課長	田 中 肇 夫
中央図書館長	田 地 恵美子	スポーツ振興課長	五十嵐 和 也
学校教育部長	和 田 雅 士	参事兼教育指導課長	伊 藤 秀 一
教育センター所長	紫 竹 理枝子	書 記	堀 川 清 美

傍 聴 者 数 0名

### 報告事項

- ・平成30年第3回狭山市議会定例会の概要について

報告者(生涯学習部長)  
(学校教育部長)

#### (要旨)

会期は、8月31日(金)から9月28日(金)までの29日間であり、議案は人事案件2件、一部改正条例6件、補正予算5件、契約案件2件、市道認定2件、市道廃止2件、決算認定7件及び剰余金処分2件、合計28件である。一般質問については、18名で、うち教育委員会関係は9名であった。大沢えみ子議員から熱中症対策について、猪股嘉直議員から小中学校の教科書について、笹本英輔議員から教育(学力向上)について、矢馳一郎議員から危機管理(風水害への対応)及び持続可能なまちづくり(SDGs(持続可能な開発目標))について、綿貫伸子議員から通級指導教室について、加賀谷勉議員から小中学校におけるがん教育の取り組みについて、望月高志議員から防災(ブロック塀)について、中村正義議員から地域防災計画(食物アレルギーを持つ方への対応)

について及び齋藤誠議員から自転車安全教育について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

- ・旧東中学校校舎等に係る文部科学省国庫補助金の財産処分について

報告者（学校統廃合担当課長）

（要旨）

旧東中学校校舎、屋内運動場(体育館)及び柔剣道場は、文部科学省の公立学校施設整備費国庫補助金を受けて整備をしていることから、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第22条の規定に基づき、当該補助金に係る財産処分の手続きを進めるものである。今後、埼玉県を經由し文部科学大臣に財産処分報告書を提出し、本年度中には承認を得たいと考えている旨の報告がなされた。

- ・平成30年度狭山市民文化祭の開催について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

10月から11月にかけて各公民館、富士見集会所、中央図書館、市民会館の14会場において、利用団体の発表や展示、模擬店などを行う市民文化祭を開催する旨の報告がなされた。

- ・平成30年度夏期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

夏期企画展「ぼくらの狭山を走れ！鉄道展」については、6月30日（土）から9月2日（日）までの57日間開催し、延べ21,886人1日あたり384人が来場した。今回の企画展では、博物館ボランティアによる狭山市をイメージした大型ジオラマを始め、西武新宿線の前身となる川越鉄道を紹介したほか、西武鉄道協力の下かつて使用していた物品や市内各駅の写真を展示した。また、関連事業としてミニ電車に乗ろうなど3つの特別イベントや「夏のまいまい体験講座」などを開催した。なお、アンケート結果については、80%の方が、「とても良い」「よい」との回答であった旨の報告がなされた。

- ・夏季休暇中（8月）の発掘調査体験事業の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

狭山工業団地拡張地区基盤整備事業に伴い、埋蔵文化財の周知・普及・活用の機会の創出事業の一環として、8月23日（木）と24日（金）の両日、発掘調査体験事業を開催した。23日は、11人（4家族+個人2人）、24日は、12人（5家族+個人1人）が参加し、両日とも、仮設事務所内で、講義の後、現場で、竪穴住居跡の発掘体験を行い、体験終了後は、ドローンを使用した記

念撮影を行った旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、参加者からの感想はどの質疑に、小学生の子どもが、お父さん、お母さんと一緒に参加でき、土器なども見つけることが出来て非常に喜んでいた旨の答弁がなされた。

・システム更新等に伴う図書館の休館について

報告者（中央図書館長）

（要旨）

図書館システムは、平成28年度で5年間のリース契約が満了となっており、現在再々リースにより運用しているため更新を行う。更新作業は、開館したままでは行うことが出来ないため、中央、狭山台ともに平成30年12月17日（月）から12月27日（木）まで休館する。その後、年末年始の休館となることから、新システム稼働による開館は1月5日（土）の予定である。この間は、インターネットの予約、蔵書検索についても休止となる旨の報告がなされた。

・平成30年度狭山台プール利用状況結果について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

7月21日（土）から8月31日（金）まで42日間開設し、利用者数は、小学生以下が2,792名、中・高校生283名、一般1,340名で合計4,415名であった。前年度比では、628人、12.5%の減となった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、この期間小学校では、熱中症の関係でプール教室が中止になった時期もあったが、狭山台プールではそのようなことはなかったのかとの質疑に、気温であるとか水温の上昇に伴うプールの休止はなかった旨の答弁がなされた。

・平成30年度学校総合体育大会等の結果について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

中学生の平成30年度学校総合体育大会等の成績について、報告がなされた。

・平成30年度新人体育大会兼県民総合体育大会について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

9月28日（金）、29日（土）に、陸上、野球等各会場で実施される旨の報告がなされた。

・部活動指導員の配置事業について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

専門的な知識と技術を有した部活動指導員を配置することにより、計画的かつ専門性の高い指導が可能となり、また、教員の負担軽減が図られることなどから実施するものである。従前の部活動指導員との違いは、単独での引率業務が可能となる。部活の活動計画について顧問と相談して立案できるなどである。なお、指導員は、地方公務員法第22条第5項に規定する臨時職員とする旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、9月1日から行われているということであるが、現在どこの中学校に配置されているのかとの質疑に、現在、各学校から申請を受けているところであり、正式に決まれば委嘱し配置していく。現状では、従前の部活動指導員であった方の中から部活動指導員として引き続きお願いする学校が多くなる見込みであり、改めて新しい方にというところは今のところはないようである旨の答弁がなされた。設置要綱に「学校設置者又は学校が指示した研修を必ず受けること。」とあるが、これはどのようなものかとの質疑に、これは教育委員会が主催で、初めて行う事業ということもあり、趣旨と内容等について説明をするということ、また、現在、全国的に話題になっている部活動のあり方や指導の中身、体罰は絶対に行わないというような内容も含めて研修を計画していく予定である旨の答弁がなされた。

・平成30年度第1回実用技能英語検定結果について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

6月1日（金）及び6月2日（土）に、公費で受験できる実用技能英語検定の1次試験が中学校1校を除く7校で行われた。公費の受験者は2級から5級まで540名で合格率は44.4%であった。各学校では、英検に向けた取り組みとして過去問の配付や3級リスニング試験の練習などに取り組んでいる旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、2次の合格率が非常に高く素晴らしいと思う。中学校3年生ぐらいまでには、本人の努力そして指導力で準2級まではどうにか受かるのではないかという見通しがつけられたのではないかと思う。また、英語検定に向けた学校の取り組みがしっかり行ってもらったことは評価できると思うが、2次面接等の対策などは考えているかとの質疑に、各学校で面接に対し個別に取り組んでいると聞いている旨の答弁がなされた。

・平成30年度『中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」』  
夏季集中講義の結果について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

基礎・基本を再度学習することにより、学力の向上を図る。学習習慣を身につけ、基礎学力を身につけることを目的に市内8中学校区で中学校2年生、3年生を対象に外部講師による英語と数学の講義を6日間実施した。参加人数は、延べ748名であった。アンケートでは、肯定的な回答が96%であった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、参加率が極端に多い少ないがあるが、その理由はその質疑に、以前から同様の教室を開いているところでは、学校に来て勉強するという習慣が地域のなかでついていると考えられる。学校によって声掛けに差異もあった。また、他の行事が重なったところもある旨の答弁がなされた。参加率が少ないのがとても残念に思った。申し込みの段階で、講義の内容は申し込み用紙で知らされているのかとの質疑に、講義内容は、記載してあるが、行事が後から入ってきて、調整できずに同日になってしまったようなこともあった旨の答弁がなされた。内容が書かれているということであるが、保護者や参加者の意見を聞くと、内容が子どもや自分の不得意分野ではないとかやるところがわからないという不透明さがあるようなので、内容が具体的に書かれていると、参加人数が増えるきっかけになると思うので検討してもらいたい旨の意見に、改良したい旨の答弁がなされた。人を集めるということでは、これに参加することによって何が得られるのか。例えば、英語のこういったところが克服できるといった書き方をすると、これは自分に当てはまるので参加してみようと思うというところもある。また、新しい試みではモニタリングをして、そこでアンケートをとり、その内容を知らせることにより、注目度も増すのではないかと思う旨の意見がなされた。

・平成30年度『狭山市小・中学生英語サマーキャンプ』の結果について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

7月25日（水）から27日（金）まで2泊3日の日程で、入間市青少年活動センターを利用して行った。今年度の参加は、小学校6年生22名、中学校1年生11名の33名であった。成果としては、参加児童生徒の英語に対する意識の変容、学校間・学年間の枠を超えた交流、人間関係づくりのスキルの向上、外国語早期教育推進事業に対する保護者の理解の深まりが挙げられる。保護者アンケートでは、「夏休みなどの長期休業中に、教育センターに行けばALTと英会話を楽しめる場所等があったりしたら嬉しく思います。」といった意見もあり、体験教室を10月に増やすことになった旨の報告がなされた。

・平成30年度新体力テストの結果【速報】について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

埼玉県では、新体力テストの総合評価で上位3ランク（A+B+C）の児童生徒の

割合の目標値を小学校80%、中学校85%と設定しており、当市においては、小学校では、女子は1年生から6年生までクリアしており、男子は下がっている傾向にあるが、男女合計では80%を超えている。また、28、29、30年度と伸びている傾向にある。中学校でも、28年度から30年度に伸びてきており、目標値も達成している。特に、女子が高くなっている傾向にある旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、今年は、成績がすごく良いと思う。ある中学校は男女ともに成績が良いが、その中学校区の小学校の成績が悪いのは、なぜかとの質疑に、詳しいデータのもとでの分析ではないが、考えられることは、小学校から中学校になるとほとんどの生徒が部活動に入るために、特に運動部については運動の機会が圧倒的に多くなり、体格も良くなるのにつれて体力もついてきているのではないかと捉えている旨の答弁がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事一覧について

報告者（社会教育課長）  
（スポーツ振興課長）  
（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係6件、スポーツ振興課関係4件及び教育指導課関係1件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

## 議 案

議案第36号 平成31年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び平成31年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項について

埼玉県教育委員会から、平成31年度当初教職員人事異動の方針が示されたことから、平成31年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び平成31年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項を定めるため、提案がなされたものである。

教育委員からの質疑等では、転補（転出）する際に、転補先でモチベーションが上がるようにしてもらいたい旨の意見に、人事異動というのは最大の研修の場とも言われているので、教職員のモチベーションが上がるような形で進めたい旨の答弁がなされた。

議案第36号については、原案可決した。

以 上